

# わ 輪

# つしよい!

いちのせき  
協働ニュース

2017年9月

vol.12

金沢小学校と市谷小学校(東京)の  
交流30周年で餅つきを披露!



## 金沢ふるさと協議会

会長：菅原 春男 Mail:kazawa.furusato2630@gmail.com

お問い合わせ先  
電話：0191-82-2954  
金沢市民センター

### 金沢地域づくり計画を策定

平成27年9月の協働体設立後、地域づくり計画を策定するため、地区住民から課題や解決方法、自慢できるところや変えたいところなどのアンケート調査を実施し、たくさんの意見が寄せられました。



これからの金沢をより良い地域とするために5回のワークショップを開催しましたが、初めは「ワークショップとは何？」からのスタート。口数の少なかった参加者も回を重ねるごとににぎやかになって、最終回には皆さんの目の色も変わっていました。

さらに「若者版ワークショップ」を2回開催。その後に専門部会を立ち上げ、部会で検討した結果を基に念願の「金沢地域づくり計画」を策定しました。



「金沢ふるさと協議会とは何ですか？」から始まりましたが「金沢ふるさと協議会でこれをやろうよ!」に少しずつ変化しています。

1人でも多くの方が関わっている地域づくりを目指していきます。

### 専門部会の活動内容



餅食文化が縁で始まった金沢小学校と市谷小学校(東京)の交流が30周年を迎え、7月23日、金沢小学校において開催された餅つき体験では、産業振興部会が中心となり、昔ながらの餅つきを披露しました。

当時どんな時に餅つきが行われたのか、どのようないわれがあるかなどを解説しながら、両校の児童や関係者の皆さんの前で餅をついてみせました。

その後、部会が手ほどきをしながら、両校の子どもたち全員で餅つき体験を行い、地域の食文化伝承の一端を担うことができました。

今後も幅広い年齢の方々が、参加できる事業を展開していきたいです。

### 事務局員の菅原雪枝さんから一言

当協議会のスローガンは「老いも若きも集まる金沢」です。誰もが気軽に立ち寄れる場所、いろんな人が参加しやすい事業を目指し、縁の下の力持ちとなるようにサポートしてまいります。



## 各地域の協働の取り組み

輪  
っしょ!

### 関が丘まちづくり協議会

会長：千葉 昭 メールアドレスsekigaoka@icn-net.ne.jp

問い合わせ先  
電話:0191-21-2150  
関が丘市民センター



関が丘子供みこし

#### 関が丘3大事業を中心に取り組んでいます

関が丘まちづくり協議会は、平成28年4月に発足し、平成29年4月から関が丘市民センターの指定管理を受け、施設管理業務やセンター事業、地域づくり事業を行っています。

関が丘では、「関が丘子供みこし」「世代間交流大運動会」「関が丘文化祭」を3大事業として毎年開催しています。本年の「子供みこし」は、関が丘市民センター設立記念事業として8月6日、初めて関が丘全区で行った『関が丘夏まつり』とタイアップして実施しました。多数の地域住民が参加し、子供から大人まで大変盛り上がりしました。

#### 関が丘まちづくり協議会会長よりひとこと

関が丘の未来像「住み良いところに住んで良かったと思えるまち」に向かって、あわてず、あせらず、地域づくりを地域の方々と知恵を出し合って、一步一步進めていきます!

(写真右から二番目)

#### 職員よりひとこと

##### 佐藤 仁さん(所長)

今年度より指定管理を受けるとともに市民センター分館から本館となりスタートしました。地域のみなさんとともに地域づくりに頑張っていきたいと思います。(写真左から二番目)

##### 佐藤 友美子さん(所長補佐)

地域のみなさんが、笑顔で気持ちよく利用できるようなセンターになるよう頑張っていきたいと思います。(写真左)

##### 阿部 典子さん(まちづくり支援員)

今年度より地域づくりに携わっておりますが、今ある事業を活性化し、子供から大人まで楽しめるよう取り組みたいと思います。課題や反省点を一つずつ改善して、地域のみなさんが安心して暮らせるまちづくりを目指します。(写真右)



## 各地域の協働の取り組み

輪  
っしょ!

### 磐清水自治協議会

会長：千葉 行雄

問い合わせ先  
電話:0191-53-2850  
磐清水市民センター



梅の里地区民祭で好評を得た「磐清水物語」

#### 磐清水地域づくりのスタート

磐清水自治協議会は、昭和62年に地域内3自治会と20団体で結成。磐清水地域では、昭和59年にすでに地域づくりの代名詞として「梅の里村磐清水」を標榜、梅の苗木1千本の植栽と合わせて「梅の里まつり」をスタートしました。

旧磐清水公民館の社会教育と併せて様々な事業を展開し、特に「梅の里村ボクがワタシが一等賞」の認定事業では、どこの家や地域にも有るであろう宝物を、誰でもが持っているであろう誇れる何かをみんなで称え合い、毎年、梅の里地区民祭で表彰しています。

#### 「磐清水物語」でふるさとを再認識

平成28年3月に冊子「磐清水物語」を発行し、ふるさとの再認識を図りました。ふるさとを思い起こしてもらえよう、昭和32年に発刊された「磐清水村誌」を基に作成しました。

また、平成29年3月の梅の里地区民祭では、村誌の中の「磐清水十景数え歌」のうち二景を演劇にして上演しました。キャスト・スタッフ117名の手作りによる大ステージになりました。

平成29年11月に開催する地区民祭の脚本もほぼ出来上がり、今年は青・壮年が中核になり前年以上に盛り上げたいと思っています。

#### 市内33番目の地域協働体

私ども磐清水自治協議会は、平成29年5月26日に協働体の認定を受けたばかりです。正直のところ《協働体としての地域づくり》に戸惑っております。先輩協働体の活動を注視していきながら、すべての磐清水地区民の福祉向上を目指してがんばります。



環境整備でゴミ拾いをする親子

# 第1回 市民センターの今、ココが熱い!

中里市民センター編

## 今回の「ココ熱」

### 『中里放課後こども教室』

#### 放課後こども教室とは、

子どもたちが心豊かで健やかに成長するため、地域の人材の協力を受けながら様々な活動に取り組む事業です。

中里地域では、平成28年10月から始め、毎週木曜日の放課後(宿題・自由遊び)と学校がお休みの日に開催する特別プログラム(凧揚げ・沢登り)を実施しています。

現在、子どもたち125人が登録し、多いときには1日90人が参加する中里地域の一大事業になっています。

### 参加者・指導員からひとこと



中里小 鈴木 颯磨くん

中里まつりのかざり(わかか)をげんかんにみんなでかざりました。水ヨーヨーとこよりを作ったあと、なわとびをしました。先生の手伝いもしました。楽しかったです。



指導員 井関 綾さん

初めは指導員という肩書に不安でしたが、毎回子どもたちからパワーと笑顔をもらっています。

### 担当者に聞きました



所長代理 齊藤 裕美さん

●放課後こども教室をはじめたきっかけを教えてください。

子どもたちの居場所の提供だけでなく、「いろいろな大人とふれあうことでコミュニケーション力を身に付けてもらいたい」、「体験を通じていろんな『好き』を見つけてもらいたい」と思ったことがきっかけです。

●放課後こども教室の成功の要因を教えてください。

指導員さんをはじめ、地域の方々の理解と協力を尽きます。

●今後に向けてひとことお願いします。

放課後子ども教室はまちづくりの一つ。子どもたちもまちづくりの担い手であり、私たちの同志です! 子どもから大人まで「中里に住んでよかった」と思えるまちを目指して取り組んでいきます。

### 中里まつり ~それいけわっしょい!~



8月5日に中里市民センターで開催された中里まつりに子どもたちみんなで参加しました。市民センター玄関のアーチを折り紙で飾り付け、看板や水ヨーヨーの準備も目を輝かせながら手伝ってくれました。

### ぼうさい探検マップ作成



かけがえのない「命」を守ろう! 子どもたちの目線で交通事故・豪雨災害・地滑りなど身近にたくさんの「今地域のここが危ない」を確認。消防署・警察署など関係機関を見学し、「いざというときどうするか!」をマップにまとめています。

【お問合せ先】中里市民センター(中里まちづくり協議会) TEL 21-2152 (FAX兼用)

これからどうなる?  
我がまちのこと

## 一関市地域協働推進計画

最終回

### 地域協働体に期待される役割

これまでのお話しで、「地域協働体」には自治会や各種団体など幅広い団体が関わっており、各団体で補完し合う事により、取り組みやすくなるのがわかりました。

地域協働体には、自分たちの地域課題の解決を図ることや、行政と協働することなどにより、特性に応じた地域づくりを進めていくことが期待されています。

### 地域課題の解決や地域の特性を活かした地域づくりを支援する制度

#### ▶地域協働体活動費補助金(通称「ひと・まち応援金」)の概要

ひと・まち応援金は、「一関市地域協働推進計画」に基づき、平成27年度に創設した補助制度です。

この制度は、地域協働体が取り組む地域課題の解決や特性を活かした地域づくり活動の支援を目的としています。

こんな事業に使われています



第1回やまのめ  
グラウンド・ゴルフ大会  
(山目地区まちづくり協議会)

青空のもとグラウンド・ゴルフを通じて民区の垣根を越えた交流を図りました。



猿沢羊糞復活事業  
(猿沢地区振興会)

地域の名産品であった羊糞復活のため、平成版「猿沢羊糞」の試作に取り組んでいます。



束稲山友好の絆事業  
(田河津振興会)

束稲山の桜を通じて一関市、奥州市、平泉町の友好と信頼を深めるため立てた看板を新調しました。



# 前回の あらすじ

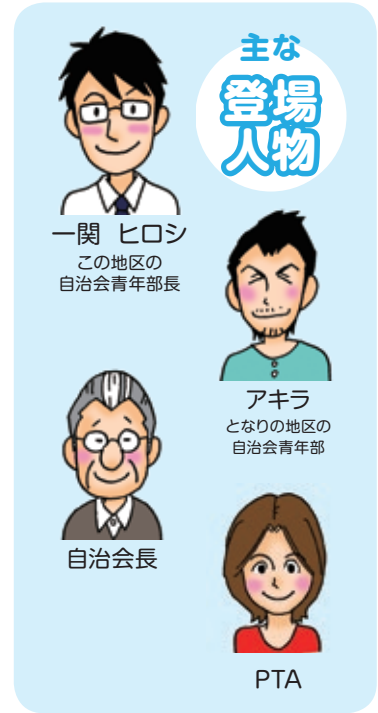
敬老会の事務局を青年部で手伝うことになり頭を悩ませていたヒロシさん。そんなところに、アキラさんから「地域協働体の会議へ参加しないか」と声かけがありました。会議に行ってみると、同じ市民センターエリアで活躍する各種団体の皆さんが迎えてくれました。



②



①



⑤



④



③



ヒロシさんがアキラさんとお会うことにより、話し合いの場を得ることができ、みんなで情報を共有し、話し合いにより課題解決をしていくことができました。

PTA会長もバザーの出品数で困っていましたが、地域協働体の会議で相談してみたら、みんなの協力を得ることができました。

また、地域協働体には行政とのパイプ役である地域担当職員が配置され、活動を支援しています。

これからも、いろんな人たちと協力し合いながら地域課題の解決や地域づくりに向けて取り組んでいきましょう。